

調査査察部



道を切り拓く
パイオニアとして

国税庁 調査査察部
調査課 課長補佐(総括)

尾張 佳也 平成16年入庁

調査査察部とは

調査査察部は、皆さんが知っているような大企業の税務調査に関する事務を所掌する調査課と、悪質な脱税の取り締まりに関する事務を所掌する査察課で構成されています。調査課、査察課には全国の国税局からその道のプロが集結して、経済情勢の変化やITなどの技術進歩に対応し、国民の信頼に応えるため、知恵を絞りながら組織運営の舵取りをしています。

調査課の使命
～大企業との協働関係と先端分野への挑戦～

調査課の使命は、大企業の税務コンプライアンスの維持・向上に努めることを通じて、税務行政全体における適正・公平な課税の実現を図ることです。調査課が所管する大企業は、業界・地域をリードし関連企業や取引先等業界全体に大きな影響力を持っているため、大企業の税務コンプライアンスを高めることは、業界・地域全体の税務コン

プライアンスの向上に繋がります。そのためには、誤りを是正する税務調査だけでなく、企業の税務コンプライアンスの状況について経営責任者と対話をしながら、内部体制の改善に向けて協働関係を築くことがとても大切です。

協働関係を構築する一方で、大口・悪質な不正計算や海外への所得移転等が想定されるような企業に対しては、深度ある税務調査を行い、毅然と立ち向かう必要があります。このため、国税組織が保有する様々なデータやシステムを活用し、税務リスクの判定を行い、金融やICTを駆使した先端的な取引や高度なスキームによる租税回避等、複雑・困難な事案に対応しています。先端分野の取引実態を解明し適正な課税をすることは、国民の税制に対する信頼を確保するとともに新たな調査手法を開発するという点において、組織内外に波及効果を及ぼします。調査課は、日々試行錯誤し苦勞しながら道を切り拓くパイオニアと言えます。

調査査察部の組織

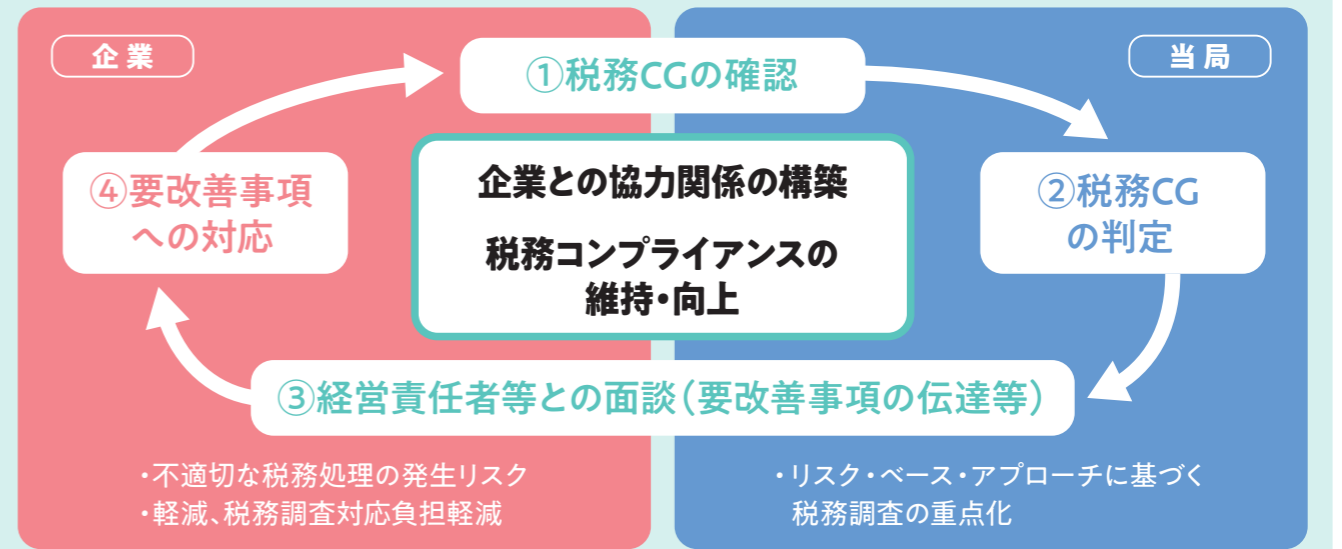
調査課

日本経済をリードする大企業を調査
世界をまたにかけ、業界や地域をリードする大企業に対する税務調査を指導・監督しています。社会・経済の最前線で活躍する大企業に対し、グローバルな視点で課税上の問題点の把握に努めるとともに、企業との意見交換を通じて、企業自身の税務コンプライアンスの向上にも注力しています。

査察課

熱きマルサ
厳正な査察調査に従事する各国税局の査察官たちと一丸となって、悪質な脱税者の刑事責任を追及しています。熱い正義感と使命感を胸に、申告納税制度の「最後の砦」として日本を支えています。

税務に関するコーポレートガバナンスの充実にに向けた取組の概要



※調査(査察)部所管法人のうち、調査部特別国税調査官所掌法人(約500社)を対象

- ① 税務調査の機会に税務CGの状況を確認
- ② 確認結果を踏まえ、その法人の税務CGの状況を評価・判定
- ③ 調査終了時に、国税局調査部長等が法人の経営責任者等と面談し、評価結果を伝達するとともに、今回調査での是正事項の再発防止策を含め、要改善事項に関して、効果的な取組事例を紹介しつつ意見交換
- ④ 法人の経営責任者等は、その面談を踏まえ、要改善事項への対応を行う

使命感を共に
～霞が関を目指すみなさんへ～

大企業を相手とする仕事と聞くと、とてもスマートなイメージを持つかもしれませんが、前例のない事柄への果敢な挑戦の連続であり、現場においては、時に大量の証拠資料を人力でめぐりながら事実を積み上げて証明していくという泥臭い場面も多々あります。霞が関に

おいでも、現場の声を丁寧に聴きながら最適解を追求し司令塔としての役割を果たすことは簡単ではありません。困難な道の歩みを支えるのは使命感です。クールな頭とともに熱い心を持った方と共に歩んでいくことを心待ちにしています。

